

コロナ禍におけるITU会合参加方法 ITツール活用方法

2021年2月17日

国立研究開発法人情報通信研究機構

イノベーション推進部門 参事

鈕吉 薫

内容

1. ITU-T会議の開催状況
2. E-meeting参加のヒント
3. MyMeeting使い方(デモ)

ITU-T会議開催状況

- ❑ 昨年3月末にITU本部(ジュネーブ)が閉鎖され、以後のSG/FG/TSAG会合は全てVirtual会議(e-meeting)で行っている。今年6月までは全ての会合をVirtual会議とすることが決定している。
- ❑ Virtual会議への移行当初は、開催時間、開催方法、開催ルールなど、多くの議論と混乱があったが、次第にNew Normalとして定着しつつある。
- ❑ Virtualでの会議運営には、時差、音声とビデオの品質、参加する場所と環境など、先進国と途上国の差も大きく、参加者にPros/Consがある。
- ❑ 中間会合(Rapporteur会合)のVirtualによる開催は、COVID-19以前から行われており、COVID-19により開催回数が増えている。
- ❑ SG会合のVirtualでの会議開催は、「現在はやむを得ないが、Decision makingはPhysical会合で行うべき。」との意見が根強い。WTSA-20は、2020年10月から2022年3月に延期し、インドHyderabadで開催予定。
- ❑ COVID-19収束後の「ITU会議のあるべき姿」については、さらなる議論とルールの整備が必要。

World time zones

- ❑ 会議時間は、Core time前後に4時間程度の設定が多い。
- ❑ アジアと欧州メンバが中心の場合は1-2時間早めに、USからの参加者が多い場合は1-2時間遅めにシフトすることもある。

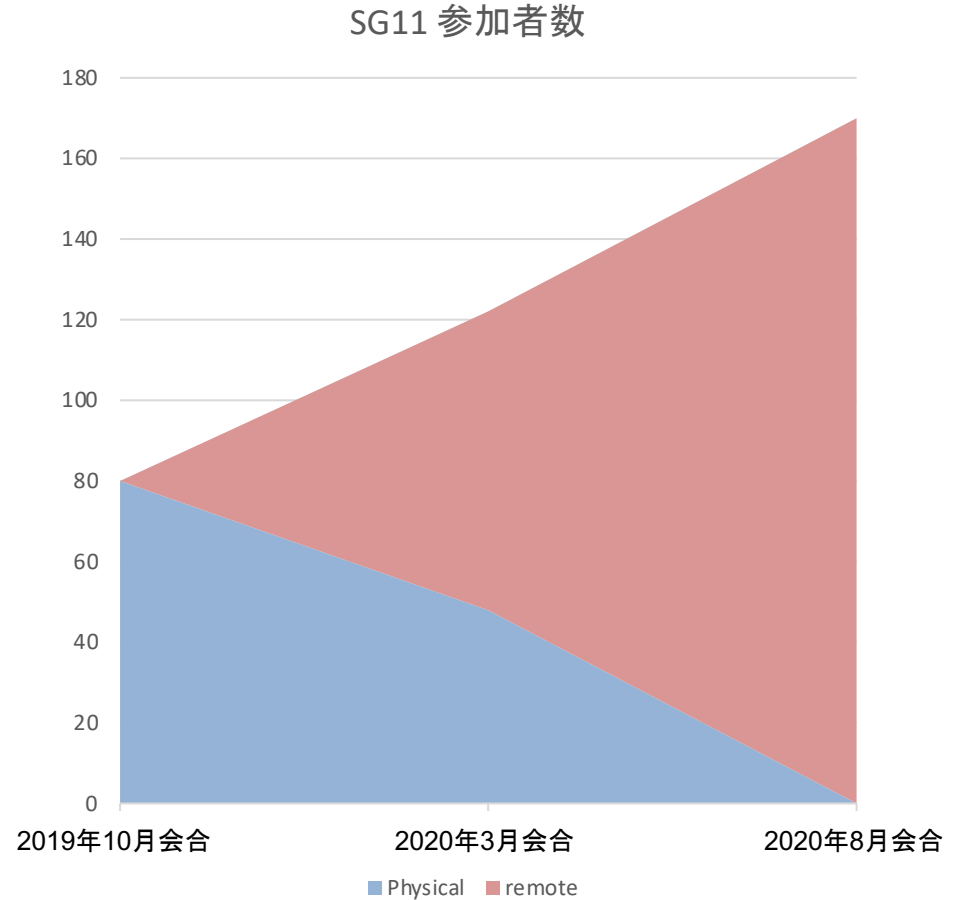
(夏時間の場合)

Core time

Geneva (CEST)	09:00 am	10:30 am	12:00 pm	13:00 pm	14:30 pm	16:00 pm	17:30 pm
Korea/Japan	16:00 pm	17:30 pm	19:00 pm	20:00 pm	21:30 pm	23:00 pm	00:30 am
China	15:00 pm	16:30 pm	18:00 pm	19:00 pm	20:30 pm	22:00 pm	23:30 pm
Brazil/Argentina	04:00 am	05:30 am	07:00 am	08:00 am	09:30 am	11:00 am	12:30 pm
Canada/US East Coast	03:00 am	04:30 am	06:00 am	07:00 am	08:30 am	10:00 am	11:30 am
US West Coast	00:00 am	01:30 am	03:00 am	04:00 am	05:30 am	07:00 am	08:30 am

Virtual会合による変化

- ❑ 会議のVirtual化により、SG会合への参加者数は増加している。
- ❑ 会議時間が限られるため、議論するトピックスを絞る傾向があり、入力寄書数、出力文書数はやや減少している。
- ❑ Physical会合へのremote参加は、Physical参加者とremot参加者間の不公平感があり、好まれない。(Physical参加できない参加者への救済措置として提供される)
- ❑ 中間会合(Rapporteur会合)の技術議論は、Virtual会合でも問題無く進んでいる。
- ❑ Virtual SG会合での合意形成は、Physical会合より難しい。(議長の裁量範囲が小さい、コーヒーブレイクのネゴができない)



E-meeting参加のヒント

- ❑ ITU-Tの会議では、資料をシェアするなど画面シェアは行うが、Video(カメラ)をシェアする機会はほとんど無い。Contributionを発表・議論する際もVideoはOFFにする。ASTAPやITU-Dの会議では会議初日に参加者の記念撮影時にVideoをシェアするが、会議中はOFFにする。
- ❑ E-meetingでは音声品質が非常に重要。特に、英語(母国語以外)での議論では、音声品質が悪いと議論にならない。
- ❑ 音声品質には、ネットワーク環境、参加場所の音響(背景雑音等)、使用する機材(マイク/スピーカ等)が影響を与える。国内(テレワーク=自宅)からの参加の場合は、ネットワークの速度が問題になることはほとんど無い。**マイクの使い方**が決定的に重要な要素となる。
- ❑ 会議では、グループチャットで議論が進む。書き込みには議長の許可が不要なため、発言に対して支持する/反対する/追加コメントするなど、多数の書き込みがある。議長提案に対する意見を、チャット書き込みで求められる場合もある。議論を聞きながら会話スピードで英語チャットするスキルが求められる。
- ❑ TSAG等の会議では、日本人参加者で別のWeb会議やLINEグループを設定し、対応について相談しながら会議参加する場合もある。
- ❑ 会議の議事進行する場合など自分がプレゼンタになる場合は、シェアしている画面が確認できるように2台のPCで参加するのが望ましい。

気をつけたいポイント

- E-meetingでは、自分の声が相手にどう聞こえているかわからない。
 - よくある失敗は、ミュートしたまま話している、マイクに近すぎてポップ音(リップ音)が入る、キーボードの打音などの環境音が入る、など。
- マイク選びには気をつけよう。
 - スマホ用のマイク付きイヤホン(有線)はマイクの位置が安定せず、声が小さかったりシャツの襟と当たってノイズが入りやすい。マイクを持って口元に寄せるとポップ音を拾うのでNG。PC内蔵マイクは、キーボードの打音が入る。
- マイクと口の位置に気をつけよう。
 - マイクと口の距離は近すぎても遠すぎてもダメ。マイクと顔の向きも重要。ヘッドセットを使用する場合も、マイクと口が近すぎないように注意。
- マイクの入カレベルに気をつけよう。
 - Windowsの場合は、右下スピーカーマークを右クリックで出てくるサウンドを開いて、録音のタブを選択すると、マイクマークの右にバーグラフのレベルメーターが出てくる。これが7割がた振れるようにすればOK。
 - Macの場合は、Sound preferenceのinput levelで確認できる。

テレワークでのe-meeting機材

- 理想的には、ヘッドホンとスタンドマイクの組み合わせがベスト。
- ITUの会議場では、ヘッドホンと卓上マイクを使用する。マイクは、ON/OFFがLED表示される。大きな会議場では、ヘッドセットを付けないと何も聞こえないほど静か。
- テレワークでは、マイクと一体化したヘッドセットがオススメ。ゲーミングヘッドセットとして、多数の商品が出ている。
- マイクミュートの方法は、マイクを上跳ね上げる、手元スイッチでON・OFFするなどいろいろ。ご自身で使いやすいものを選べば良い。
- ヘッドセットは、挟む圧力が強いものは長時間の使用で耳やメガネのさやに当たる部分が痛くなることがある。
- スマホ用のマイク付きイヤホン(ワイヤレス)は、マイクの位置が耳の付近に固定されており、安定した音声品質で使える。
- オンラインゲーム用の製品が多数ある。自分のニーズに合ったものを選ぼう。
- 長時間の会議には、スピーカーホンが便利。
- マイクミュートが直感的でわかりやすい(失敗が少ない)。エコーキャンセラが内蔵されているので、スピーカで聞ける。音声品質は、こちらの話す声が相手にこもった印象に聞こえることがある。

テレワークでのe-meeting機材



スマホ用イヤホン
(有線)



スマホ用イヤホン
(ワイヤレス)



スピーカホン



ヘッドセット



ヘッドホン
+
スタンドマイク



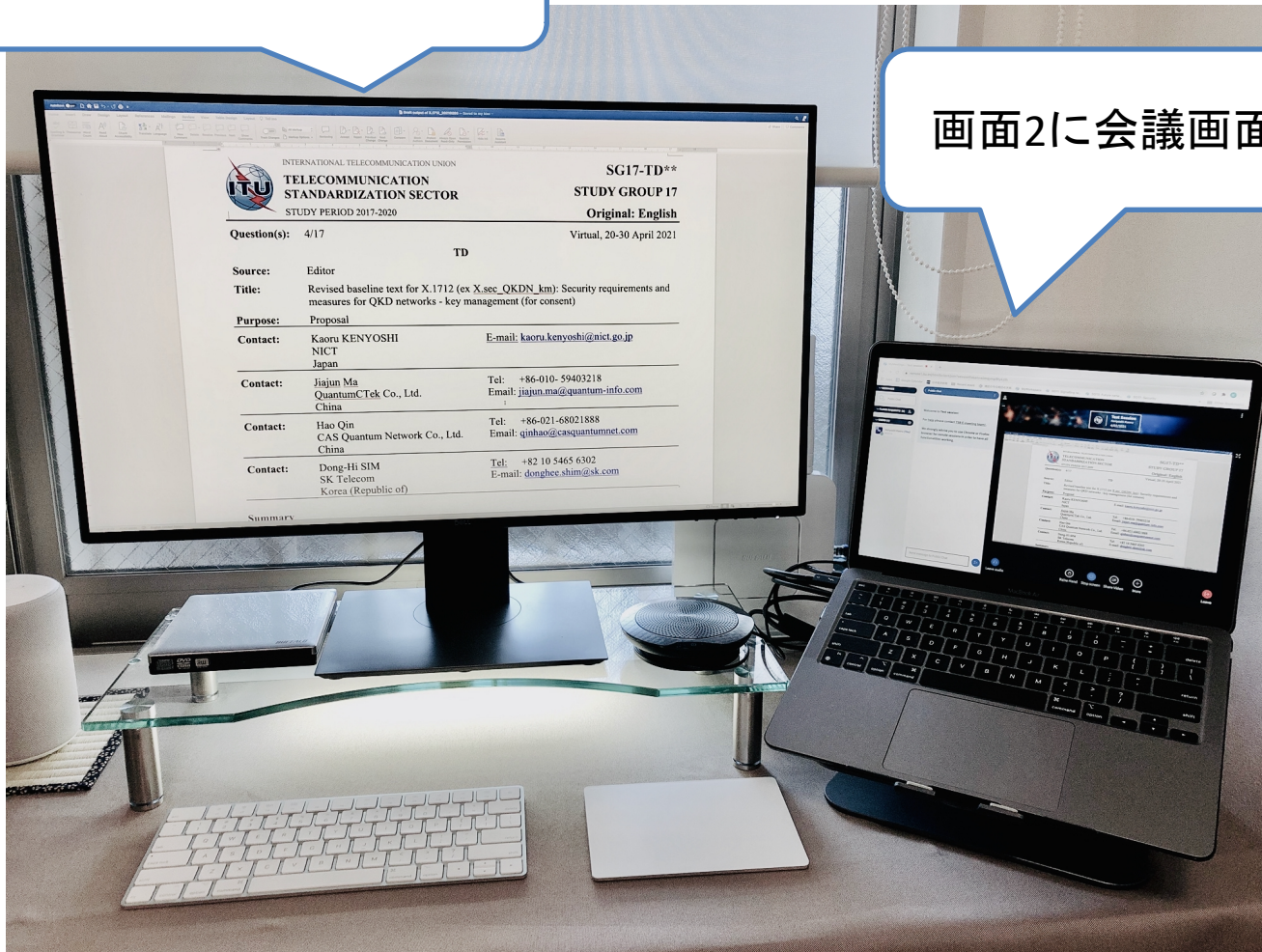
注:特定の製品をお勧めしているではありません。

議事進行・プレゼンテーションのヒント

- 議長役として会議を進行する場合、不意の通信障害時には誰かが議長役をカバーする(Contingency plan)を予め決めておくのが良い。
- ラポータなど会議を進行する、エディタなどドラフティング資料を表示する、寄書をプレゼンするなど資料をシェアする場合、自分がシェアしている資料が会議参加者にどのように見えているかわからない。
 - 文字が見にくいので大きく表示して下さいと言われることがある。大きく表示しようとしてWordやPower pointを全画面表示にしてシェアすると、チャット画面や誰かが挙手しているのが見えなくなる。
 - 資料をスクロールすると、自分のPCで表示される画面と会議参加者のPCに表示される画面がズれる場合がある。(会議参加者のPCに表示される画面が遅れる)
- ITUではラポータなど会議の司会を行う場合は、プレゼン用端末と参加者の画面を確認するための端末の2台で参加することを推奨している。
- ノートPCと外部モニターの2画面を使用できれば、画面1でシェアする資料を表示し、画面2で会議参加画面を表示し、会議参加者にどのように見えているかを確認しながらプレゼンすることができる。

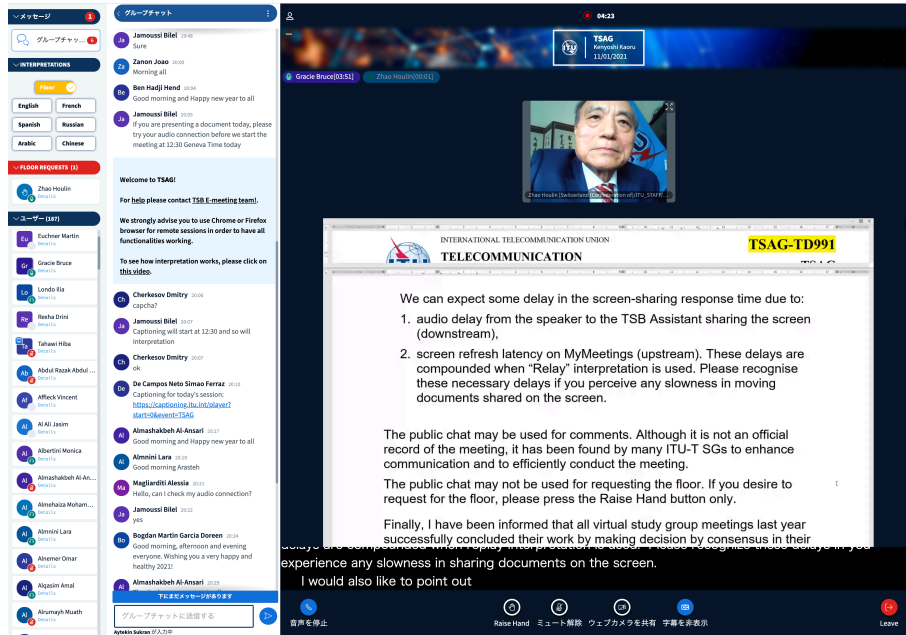
議事進行・プレゼンテーションのヒント

画面1にプレゼン資料を表示



画面2に会議画面を表示

MyMeetings



2021年1月 TSAG会合の画面キャプチャ

- ❑ ITU-Tが提供するWeb会議ツール
- ❑ 主な機能
 - 画面(資料、ビデオ)共有
 - 発言リクエスト (リクエスト順にリスト表示)
 - チャット(グループ/プライベート)
 - Test session
 - 参加者のaffiriation表示
- ❑ SG/TSAGなどで提供される機能
 - 6ヶ国語同時通訳チャンネル
 - 字幕表示(英語Captioning)

MyMeetingsデモ

□ 以下のurlよりご参加下さい。(参加にはITUのTIESアカウントが必要です)

<https://www.itu.int/myworkspace/#/MyMeetings>